

# 食品メーカーにおける SCM領域でのクラウド活用

---

株式会社ラック  
IT戦略アドバイザー

喜多羅 滋夫

## 自己紹介

喜多羅 滋夫（きたらしげお）

株式会社ラック IT戦略アドバイザー  
(元) 日清食品ホールディングス 執行役員・CIO



### プロフィール

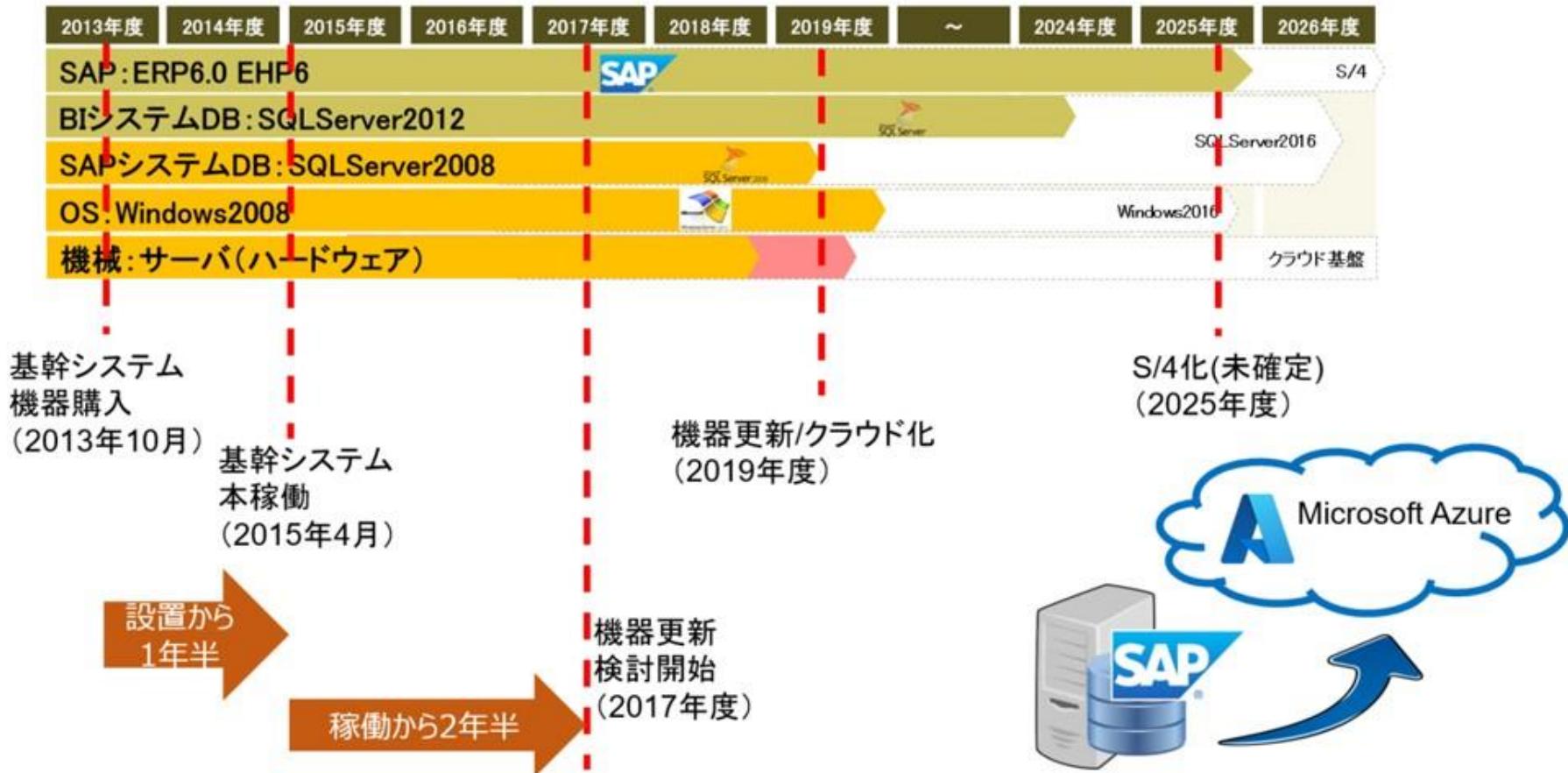
P&G、フィリップモ里斯において、ITを活用した事業課題の解決や、  
多国籍IT部門の運営に従事。

2013年から2021年まで、日清食品グループのCIO（最高情報責任者）として、システムのグローバル化とITを活用した働き方改革に携わる。  
2018年 経済産業大臣賞受賞、2020年 DX銘柄選定。

# 背景



## 基幹システム基盤刷新のきっかけ



(日清食品HD公開資料より)  
Copyright © KITARA CO.,LTD. All Rights Reserved.

## 事業課題

- EoS対応（事業継続）
- BIレスポンス低下とサービスダウン（夜間バッチ問題）
- 長いBCP復旧目標（48時間）
- 使われていない帳票群・インターフェースの整理

## プロジェクトスケジュール

2017年11月～2018年10月

グランドデザイン策定

- 方針策定
- AWS/Azureの評価と決定
- 予算決裁

2018年11月～2019年1月

要件定義フェーズ

- プロジェクト計画書策定
- インフラ・バックアップ設計

2019年2月～4月

開発フェーズ

2019年5月～7月

テストフェーズ

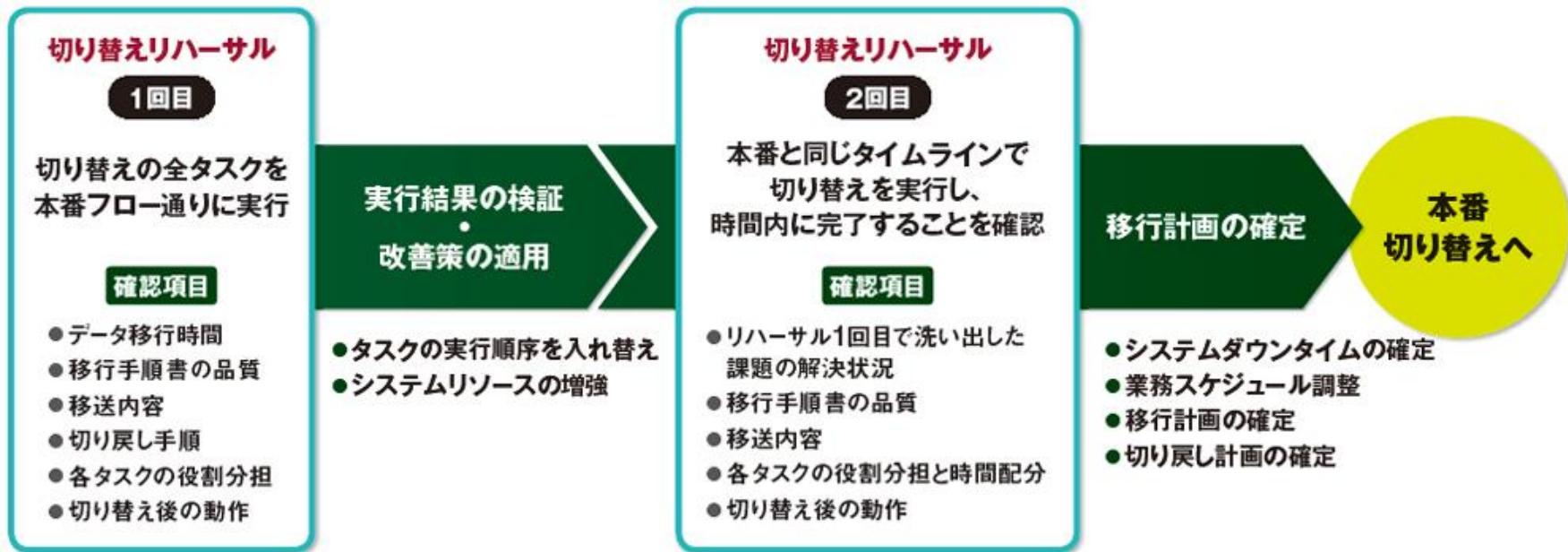
- 第1回移行リハーサル

2019年8月～10月

移行フェーズ

- 第2回移行リハーサル
- 本番移行（9月）

# 入念なリハーサル



## クラウド移行のメリット

---

- ・ ハードウェア保守のリスクから逃れた
- ・ 夜間バッチトラブルの回避
- ・ BCP時のリカバリータイムの改善（48時間超→8時間）

## システム簡素化 (BI) 後

SAP基盤クラウド化に伴い、BIを簡素化  
レポートを6割削減し、サービスの可用性を高める

簡素化が、BIのサービスの安定化に貢献しています。  
(お問い合わせ：平均13件/月 → 0件/月)

# SAPデータを活用したサプライチェーン最適化

# データ分析におけるAWS Redshiftの活用（2019～）

## 背景

- ・ サプライチェーン清流化によるロス削減
- ・ BIにおけるパフォーマンス問題

## 施策

- ・ Redshiftでデータ処理→PowerBIで分析
- ・ 部門間調整のためのKPIレポート
  - ・ 営業部門会議向け(支店など)
  - ・ サプライチェーン需給調整会議向け(単品別)
  - ・ 営業向けPOS分析ツール



まとめ

クラウド移行により

サービスレベル向上とコストの低減

ができました。

安定的にサービスを提供  
できる環境

SAP稼働率  
100%

BI稼働率  
99.9%

夜間処理時間  
短縮

災害時も安心な  
常に同期された環境

DR所要時間  
5h

体制の冗長化

手順の簡素化

運用業務に必要な  
負担が低減された環境

自由な  
スケーラビリティ

運用保守工数  
-1,600h/年

ランニングコスト  
-6百万円/年

(日清食品HD公開資料より)

Copyright © KITARA CO.,LTD. All Rights Reserved.

## アプリケーション・DBをクラウド利用するメリット

- スケールの自由度（リードタイム＆コスト）
- テスト環境・サンドボックスの弾力的運用によるコスト削減
- 新しいテクノロジー（Redshiftなど）によるパフォーマンス改善
- ソリューション内製化による業務への対応速度向上